

# Liederabend in MATSUMOTO

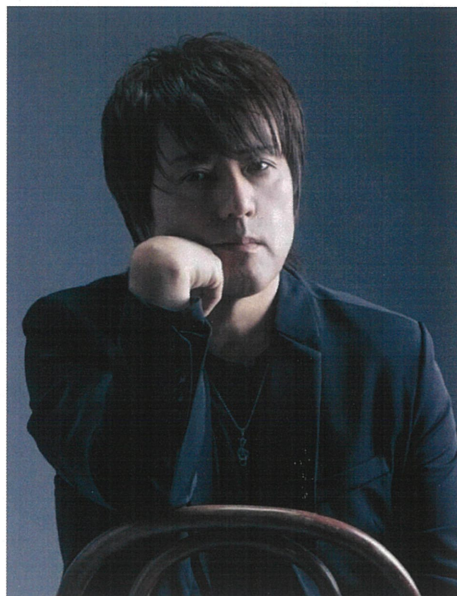
ドイツ歌曲の夕べ

Vol.4

～ ヴォルフとワーグナー ～



©Akira Muto



ソプラノ：天羽 明恵

テノール：澤武 紀行

ピアノ：村上 寿昭

## 蕎麦屋で学ぶドイツ<sup>リート</sup>歌曲

解説：天羽 明恵

初心者大歓迎

5月24日(日) 17:00～18:00

5月25日(月) 18:00～19:00

「太田直樹さんのヴォルフを聴く会」  
於) 緑町 蕎麦倶楽部佐々木

実演有り! 1時間でわかるドイツ<sup>リート</sup>のい・ろ・は  
ピアノ：小松 幸恵

於) 飯田町 松本手打ち蕎麦丸周

いずれも先着 30 名 会費 1,000 円 (ワンソフトドリンク付き)

申し込み先：0263-50-4387 (蕎麦倶楽部佐々木) 080-1321-1283 (佐々木)

2026年 7月 17日(金) 19:00 開演 (18:30 開場)

松本市音楽文化ホール (小ホール)

Ticket : 3,000 円 (全席自由)

<プレイガイド>松本市音楽文化ホール (TEL : 0263-47-2004)

<主催>Liederabend in MATSUMOTO 実行委員会

<お問い合わせ>Liederabend in MATSUMOTO 実行委員会委員長 中村雅夫 (090-3006-1213)

# Program

プログラム

～ヴォルフとワーグナー～

男と女の恋模様を軽快に歌う 「イタリア歌曲集」 より

道ならぬ恋に落ちた愛人の詩に作曲された 「ヴェーゼンドンク歌曲集」 より

# Profile

プロフィール

ソプラノ：天羽 明恵 Akie AMOU

東京藝術大学卒業。オペラ研修所、二期会オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてシュトゥットガルト音楽大学に留学。

1995年第6回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。副賞として財団の助成によりベルリンで2年間研修を行う。同年7月、新人の登竜門として知られるラインスベルク音楽祭で<ナクソス島のアリアドネ>のツェルビネッタをクリスティアン・ティーレマンの指揮で歌い、続いて8月に、ソニア・ノルウェー女王記念第3回国際音楽コンクールに優勝し、一躍注目を集めた。その後、ドイツを拠点として、ジュネーヴ大劇場、ザクセン州立歌劇場（ゼンパー・オーパー）、ベルリン・コーミッシェ・オーパー等ヨーロッパ各地の歌劇場や音楽祭に出演。

国内では新国立劇場、サントリーホール・ホールオペラなどへ定期的に登場。超絶的なコロラトゥーラとリリックな声が内外で高い評価を得ており、日本の主要なオーケストラの定期公演にも、著名な指揮者のもとソリストとして出演している。また若手歌手のサポートや解説付きオペラの公演をプロデュースし、オペラの啓蒙活動にも積極的に取り組んでいる。

2023年からは、自主プロデュースのドイツ歌曲シリーズ「詩が歌となるとき Poesie und Lied」を開催。1999年度アリオン賞、2003年第14回日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞を受賞。日本ロッシーニ協会運営委員、東京オペラNEXT理事。故戸田敏子、フランス・シマル、故エルンスト・ヘフリガーの各氏に師事。

2020年にソロアルバム「R. シュトラウス 4つの最後の歌」、2025年秋「シューマン“女の愛と生涯”レーナウ歌曲集」をリリース。

テノール：澤武 紀行 Noriyuki SAWABU

東京芸術大学声楽科、桐朋学園大学声楽科両校合格。桐朋学園大学を首席で卒業後、国際ロータリー財団親善奨学生としてザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院とリンツ・ブルックナー音楽大学にて研鑽。その後、ドイツにて、歌劇「後宮からの逃走」のベルモンテ役でヨーロッパオペラデビュー後、ベルリン国立歌劇場、ブラウンシュヴァイク国立劇場、リンツ州立歌劇場、ヴッパータール劇場、ハッレ歌劇場、フォアポンメルン州立劇場（テノールソリスト専属歌手契約）等、欧州の名門歌劇場や音楽祭への出演。2020年からは欧州のみならず、日本も活動の拠点として活動を展開している。

コミカルな役からシリアスな役までと、幅広いレパートリーを持ち、ドイツ語作品を得意としており、アジリタ技巧を駆使した歌唱や、世界初演の近現代作品への歌唱アプローチと役作りには、欧州の指揮者・演出家からの信頼も厚い。日本でも、神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演したワーグナー作曲の歌劇「ラインの黄金」（沼尻竜典指揮）のローゲ役でも、現日本での最高のローゲと絶賛されるなど、日本での評価も高い。オペラのみならず、宗教曲の分野でも高い評価を得ており、特にバッハが作曲した受難曲の難役である「福音史家」には定評がある。

ユニークな活動としては、北日本放送「夢見るクラシック」ナビゲーター、「とれたてワイド朝生木曜日」ラジオパーソナリティー、富山銀行、フードシステム、KAKUのテレビCMに出演など、芸能活動も精力的に展開している。氷見第九総監督、富山県警交通安全うたごえ大使、氷見市国際芸術文化大使、射水市PR大使を務める。とやま賞、北日本新聞芸術選奨、射水市市政功労賞、ありがとう賞（氷見市）等、受賞

ピアノ：村上寿昭 Toshiaki MURAKAMI

15歳より指揮を高階正光氏に師事。桐朋学園大学にて指揮を小澤征爾、黒岩英臣、秋山和慶の各氏に師事。大学在学中から、新日本フィルハーモニー交響楽団、サイトウ・キネン・オーケストラにて、その後もウィーン国立歌劇場で小澤征爾氏のアシスタントを務める。1997年渡独。ベルリン国立芸術大学でマティアス・フスマン教授に師事。

2000年からは文化庁海外派遣研修、及びローム ミュージック ファンデーションの助成を受けウィーンへ留学。ウィーン国立音楽大学でレオポルト・ハーガー教授、湯浅勇治氏に師事。2000年タンゲルウッド音楽祭にフェローとして参加し、小澤征爾、ロバート・スパーノの各氏に師事。また翌年にはアシスタントとして招待を受ける。

2004年から2006年までオーストリア・リンツ州立歌劇場に在籍、2006年からドイツ・ハノーファー州立歌劇場に転じ、2012年まではカペルマイスターとして数多くのオペラ、バレエを指揮。

これまで国内においては、2002年には小澤征爾音楽塾にて<ドン・ジョヴァンニ>を、また新日本フィルハーモニー交響楽団を指揮してデビュー。2016年、17年小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト<こうもり><カルメン>を小澤征爾氏と振り分け指揮。2016年セイジ・オザワ松本フェスティバルにてGig コンサートを指揮。2021年サントリーホール・フレッシュ・オペラ<ラ・トラヴィアータ>を指揮。現在、東京芸術大学講師、桐朋学園大学音楽学部講師。